



新型コロナウイルスワクチン接種の様子

どにより、5,110万円の増となりました。  
**その他** 前記以外の収入です。前年度に比べ3,377万円の増となりました。  
**一般会計歳出**  
 歳出総額は、59億9,139万円、対前年度11億6,586万円の減となりました。  
**民生費** 新型コロナウイルス感染症対策として非課税世帯や子育て世帯に対する臨時特別給付金などにより、3億896万円の増となりました。  
**総務費** 特別定額給付金給付の終了などにより、14億5,848万円の減となりました。  
**衛生費** 新型コロナウイルスワクチン接種の実施などにより、9,178万円の増となりました。

**公債費** 平成29、30年度の借り入れの返済が始まったため、530万円の増となりました。  
**土木費** 道路整備費の増などにより656万円の増となりました。  
**消防費** 避難場所整備事業の開始などにより、2,377万円の増となりました。  
**農林水産業費** 土地改良事業や水路整備の一部終了などにより、875万円の減となりました。  
**問合せ** 財政係 8216126



整備された電子黒板（西小学校）

**教育費** 学校のデジタル機器の整備終了などにより、1億368万円の減となりました。

## 令和3年度 板倉町の

# 決算報告



一般会計は、令和2年度の特別定額給付金の支給が終了したことなどにより、歳出総額、歳入総額ともに前年度に比べ大幅な減額となりました。  
 基金残高は、前年度の歳入歳出差引残額の一部や、交付税の増額分などを積み立てたため27億7,562万円から32億3,151万円へと4億5,589万円増加し、借入金残高は、平成29、30年度の臨時財政対策返済を始めたため、43億5,930万円から42億9,268万円へと6,662万円減少しました。  
 歳入歳出差引残額は8億8,481万円へと1億5,888万円増加しました。これは、基金への積立と令和4年度の事業費に充てることとなります。

### 特別会計：一般の歳入・歳出と区分して経理を明確にするために法令や条例に基づいて設ける会計

事業名	歳入総額		歳出総額		差引残額	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
後期高齢者医療	1億7,588万円	1億6,491万円	1億7,343万円	1億6,304万円	245万円	187万円
国民健康保険	19億3,800万円	19億299万円	18億5,484万円	18億6,511万円	8,316万円	3,788万円
介護保険	12億8,135万円	13億542万円	12億4,049万円	12億5,988万円	4,086万円	4,554万円
下水道事業	2億1,022万円 (702万円)	1億9,742万円 (0円)	1億9,035万円	1億7,394万円	1,987万円	2,348万円

下水道事業の( )内は、歳入総額のうち一般会計からの基準外繰入金

歳出 **59** (令和2年度比-16.3%) 億9,139万円

内訳	令和3年度	令和2年度	増減率
民生費	19億7,776万円	16億6,880万円	18.5%
総務費	12億929万円	26億6,777万円	△54.7%
衛生費	5億9,209万円	5億31万円	18.3%
教育費	5億8,229万円	6億7,197万円	△15.4%
公債費	4億3,364万円	4億2,834万円	1.2%
土木費	4億2,353万円	4億1,697万円	1.6%
消防費	2億9,393万円	2億7,016万円	8.8%
農林水産費	2億8,621万円	3億496万円	△6.1%
その他	2億665万円	2億2,797万円	△9.4%
歳出合計	59億9,139万円	71億5,725万円	△16.3%

用語解説 民生費…幼児や高齢者などの福祉に使用/総務費…町の一般的な管理事務に使用/衛生費…ごみ・尿の処理や住民健診に使用/教育費…小中学校や公民館の経費、文化・スポーツ活動に使用/公債費…借ったお金の返済に使用/土木費…道路や河川、公園などの整備・維持管理に使用/消防費…消防・防災のために使用/農林水産費…農業や畜産の振興、土地改良などに使用

歳入 **68** (令和2年度比-12.8%) 億7,620万円

内訳	令和3年度	令和2年度	増減率
町税	22億2,579万円	21億8,606万円	1.8%
地方交付税	15億6,052万円	12億7,709万円	22.2%
国庫支出金	8億8,769万円	22億2,162万円	△60.0%
繰越金	7億2,592万円	5億9,188万円	22.6%
県支出金	4億1,506万円	4億2,680万円	△2.8%
町債	3億5,550万円	3億440万円	16.8%
地方消費税交付金	3億5,449万円	3億2,846万円	7.9%
繰入金	192万円	2億3,133万円	△99.2%
その他	3億4,931万円	3億1,554万円	10.7%
歳入合計	68億7,620万円	78億8,318万円	△12.8%

用語解説 町税…町民税や固定資産税などの税金/地方交付税…財政状況に応じて交付される税金/国庫支出金・県支出金…特定の事業を行うために国や県から交付される補助金など/繰越金…前年度からの持ち越し金/町債…借入金/地方消費税交付金…消費税の一部からの交付金/繰入金…基金や特別会計からの繰入金

### 一般会計地方債(借入金)現在高

令和3年度	令和2年度	増減率
42億9,268万円	43億5,930万円	△1.5%

○地方債(借入金)現在高は一般会計のみ掲載

### 一般会計積立金現在高

内訳	令和3年度	令和2年度	増減率
財政調整基金	28億3,892万円	23億8,424万円	19.1%
減債基金	6,923万円	6,921万円	0.0%
その他特定目的基金	3億2,335万円	3億2,217万円	0.4%
合計	32億3,151万円	27億7,562万円	16.4%

○積立金は一般会計のみ掲載

**一般会計歳入**  
 歳入総額は、68億7,620万円であり、対前年度に比べ10億6,980万円の減となりました。  
**町税** 当町における主要な収入です。前年度に比べ約1.8%の増となりました。  
**国庫支出金** 令和2年度に実施した、特別定額給付金が終了したため、大幅減額となりました。  
**地方交付税** 臨時経済対策費等の増額があり、前年度に比べ約2億8,343万円増加しました。  
**繰越金** 前年度の歳入歳出差引残額が持ち越され、令和4年度の収入となります。  
**県支出金** 県補助を受けていた農地の整備事業の終了などにより、1,174万円の減となりました。  
**地方消費税交付金** 2,603万円の増となりました。なお、この交付金のうち社会保障財源化分1億9,940万円は、福祉医療費をはじめとした各種社会保障関係経費の財源に充てられました。  
**町債** 交付税の不足分をまかなう臨時財政対策債の発行な

## 財政状況は健全 健全化判断比率は基準値以下

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき令和3年度決算に基づく健全化判断比率および資金不足比率を公表します。いずれの比率も財政上問題があると国が判断する「早期(経営)健全化基準」を下回っています。

**健全化判断比率**

区分	令和3年度	令和2年度	早期健全化基準
実質赤字比率	-	-	15.00%
連結実質赤字比率	-	-	20.00%
実質公債費比率	6.2%	5.5%	25.00%
将来負担比率	-	-	350.0%

○実質赤字比率は、実質赤字ではないため「-」と表示  
 ○連結実質赤字比率は、実質赤字ではないため「-」と表示  
 ○将来負担比率は、将来負担額に充てることができる財源等が将来負担額を上回っているため「-」と表示

**資金不足比率**

特別会計の名称	令和3年度	令和2年度	経営健全化基準
下水道事業特別会計	-	-	20.0%

○資金不足比率は、資金不足でないため「-」と表示

**実質赤字比率** 町の一般会計における赤字の程度が、町の財政規模に対してどれくらいの割合かを示すもの

**連結実質赤字比率** 町のすべての会計における赤字の程度が、町の財政規模に対してどれくらいの割合かを示すもの

**実質公債費比率** 町の一般会計が負担する借入金の返済費やこれに準じるものの支払が、町の財政規模に対してどのくらいの割合かを示すもの

**将来負担比率** 町の一般会計が将来負担すべき実質的な負債が、町の財政規模に対してどのくらいの割合かを示すもの

**資金不足比率** 町の下水道事業特別会計の資金の不足額が、事業の規模に対してどれくらいの割合かを示すもの